

1 基本情報

施策名	2 - 3 みどりがつながるまちづくり				戦略名	みどり活用プロジェクト			
担当	主担当部	市民環境経済部	主担当課	環境課					
	部長名	川上 利一	関係課	都市計画課					

2 取組目標 (Plan)

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●白井市の豊かな暮らしを支える重要な要素である水とみどりの環境の大切さを市民一人一人が認識し、その保全と継承に向けた取り組みを展開します。 ●森や河川、田園など市街地の外側に広がるみどりと市街地内の緑地や樹木などのみどりがチェーンのようにつながり、みどりが持つ暮らしを豊かにする多様な可能性を活かします。
------	---

3 平成30年度取組状況 (Do①)

取組1 自然とのふれあいや癒しの場としての里山の保全と活用						
取組方針	市民や市民団体等と協働し、(仮称)谷田・清戸市民の森など、里山を積極的に保全・活用します。					
取組内容	(仮称)谷田・清戸市民の森の整備に向けて、整備区域素案内及び周辺地権者を戸別訪問し計画に対する賛否等の聞き取りを行った。					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	32	(仮称)谷田・清戸市民の森整備事業	改善して継続			

取組2 市民によるみどりのネットワークづくりに対する支援

取組方針	市民や市民団体等が自ら、道路沿いなどの身近なみどりを育て、みどりのネットワークをつくる活動を進めます。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道のみどりを増やし、みどりのネットワークをつくるため、植栽活動を行う団体(45団体)が草花等の購入に要した経費の一部を補助した。 ・市HPや広報による事業の周知。 ・環境フォーラムのパネル展示にて、団体の植栽した草花を紹介し、本事業の取り組みの様子を公開。 ・補助金を交付した団体に、団体名を記載した専用の看板を配布。 					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	33	沿道みどりの推進事業	現状のまま継続			

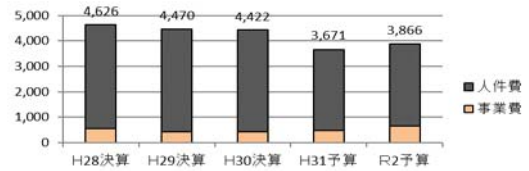
4 施策展開の状況 (Do②)

改善した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・公民センターが中心となって、カナ街道を点ではなく線として再生するため、平塚地区懇談会で再生に向けた協議を行い、沿道みどりの推進事業補助金を活用し、平成30年度から取り組んでいる。 					
他分野・他施策との連携						

5 施策推進コスト(Do③)

(千円、%)

	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	R2予算
事業費	571	431	445	480	675
人件費	4,055	4,039	3,977	3,191	3,191
合計	4,626	4,470	4,422	3,671	3,866
プロジェクト内割合	25.6	20.2	18.5	23.4	22.4



6 1次評価(Check①&Action①)

定量的評価	施策指標名	単位	基準値/基準年度		目標値	実績値				
					R2年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
	白井のみどりの環境を自慢に思う市民の割合	%	-	-	72.1	72.1	77.8	83.7		
	身近に自然を感じるお気に入りの場がある市民の割合	%	-	-	85.3	85.3	79.6	81.8		
定性的評価	沿道のみどりの推進事業については、市民団体による主体的な取組が進んでいて、H30年度については補助金申請枠を5枠増やしたが、受付開始後約1ヶ月で定員に達しその後も申請の問い合わせがあったので本事業の有効性は高いと考えられる。 (仮称)谷田・清戸市民の森の整備区域の決定に向け、素案に基づいて地権者の意向確認を行ったが、様々な意見があり、慎重な議論が必要のため整備スケジュールは予定より遅れる見込みとなった。						進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> おおむね順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 遅れている			
課題	喫緊の課題			中長期的な課題						
	・(仮称)谷田・清戸市民の森の整備地権者の意向確認をしたところ様々な意見があった。 ・道路沿いなどの身近なみどりが増え、みどりのネットワークを形成できるよう、植栽活動を行う市民団体を増やす必要がある。			(仮称)谷田・清戸市民の森の整備、保全のあり方、維持管理方法等が決定していないため、地元、市民活動団体等と協働で検討を行う必要がある。						
施策の方向性(改善策)	短期的な方向性			中長期的な方向性						
	(仮称)谷田・清戸市民の森の整備について、土地所有者等と協議しながら、丁寧に進める。 沿道みどりに関しては、毎年早い段階で申請枠が埋まってしまうので申請枠の増加を検討する。			(仮称)谷田・清戸市民の森の整備方法、保全のあり方、維持管理方法などについて地元、市民活動団体等と協働で検討を進める。						
施策を取り巻く環境の変化	ニュータウン開発等急激な都市化が進行した中で、ニュータウン区域から除外された谷田・清戸地区の県有地が貴重な里山として保全され、千葉県との協力により緑地の保全を目的に市に譲渡された。 平成27年度まで、ごみのポイ捨て防止、きれいなまちづくりと潤いのある快適な生活環境の実現を目的に年2回植栽活動を行う団体に花苗等の配付による「花いっぱい運動」を継続してきたが、時期が限定されるなど課題があり見直しが必要と求められた。 自然とのふれあいや癒しの場としての里山の保全や活用、みどりによる癒しの空間を広げ、ウォーキングや散策等の活用が求められている。									
市民と行政の役割分担・協働	<input type="checkbox"/> 行政の役割を拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の行政と市民の役割分担・協働を維持 <input type="checkbox"/> 市民の役割・協働を拡大 (仮称)谷田・清戸市民の森の管理・運営等については、自らの地域への愛着や地域活力の向上を図るため、地元市民や市民活動団体と協働で取り組む。 沿道のみどりのネットワークづくりについては、市民が主体となって植栽と管理に取り組み、行政はそれを支援する。									

7 2次評価(Check②&Action②)

白井市行政評価委員会による評価

- ・土地所有者を含めた市民の環境保全に対する意識が更に高まるよう、引き続き啓発等に努めること。
- ・「しろい市民まちづくりサポートセンター」に登録する市民活動団体等と連携して、環境保全活動を実践する市民・市民団体の裾野を広げていくこと。
- ・(仮称)谷田・清戸市民の森整備事業については、土地所有者の様々な意見を踏まえて、丁寧な議論を重ねること。

8 3次評価(Check③&Action③)

総合計画審議会による評価

平成30年度に実施済み。平成31年度は未実施。

9 3次評価の改善意見等への対応

--